

さらなる患者負担増は中止を！ 署名にご協力ください



協会は、政府の計画する新たな患者負担増計画の阻止をめざし、世論を盛り上げようと、新しい「ストップ！患者負担増」署名キャンペーンに取り組んでいます。署名は7月までに3万筆を目標に集め、地元国会議員への働きかけを通じて、国会に届ける予定です。ぜひ多くの会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

政府は現在、さまざまな負担増(下表)を計画しています。政府は参議員

選挙で与党に不利な材料になるとして、争点化しない姿勢ですが、来年の通常国会で法案を成立させるとしています。

参議院選挙でこれらを争点化し、国民的な反対世論を盛り上げなければなりません。そこで、協会は全国の協会とともに6月末まで新しい「ストップ！患者負担増」署名に取り組んでいます。

北阪神支部では診療報酬改定研究会、職員接遇研修会などにご参加いただいた先生や職員の皆さまにご協力いただき現在561集まっています。(5月18日現在)

署名がまだの方や、患者さんにも協力のお声がけをぜひよろしくお願いいたします。

私たちの力で、政府の計画を一人でも多くの患者さんに知らせ、負担増を止めましょう。

ミニパンフやポケットティッシュなどのグッズもご活用ください。

政府が計画する、さらなる負担増

- ①「かかりつけ医」以外を受診した際の追加定額負担
- ②市販品類似薬の保険外し
- ③70歳以上の高額療養費制度上限額の引き上げ
- ④75歳以上の窓口負担の2割化
- ⑤介護保険利用料の原則2割化

署名用紙やグッズの追加注文は、TEL078-393-1807 まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2016年 5月25日号 No.259
 発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
 支部長 中井通治
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
 神戸フコク生命海岸通ビル5階
 ☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802
 http://www.hhk.jp/

職員接遇研修会 感想文

不安に寄り添い ていねいな対応を

北阪神支部は4月16日に接遇研修会「接遇の基本とクレーム対応」を伊丹市立図書館とば蔵で開催。大手前短期大学教授の水原道子先生が講師を務め、看護師や事務スタッフら33人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

緊張する新人を率いて接遇研修会を受講させていただきました。

勤務年数を積んでいても、うまく対応できない時もあり、学ぶべきことがたくさんありました。参加型の講義で、ペアを組んでの実践もあり、照れながらも楽しく学ぶことができました。

仕事に慣れたからこそ、謙虚さを忘れ、横柄な対応をしてしまっていたのではないかと反省することもありました。

患者さんは、家を出る前から身体の不調だけではなく、不安や疑問をたくさん抱えて来られているはず。その心に寄り添い、治療や会話を通して、少しでも癒され、帰られるときには笑顔で安心していただけるように、ていねいに対応しなくてはならないと痛感しました。



ペアを組んで感じのいいあいさつの仕方などを実践

(2面につづく)

(1面からのつづき)

そして、患者さんからのクレームに対応する際も、まずは相手に共感してから一度だけ謝ること、相手をヒートアップさせないように迅速に見極めて対応することの大切さを学びました。

また逆に、こちらから患者さんに注意を促す場合にも、きちんと誠意を持って常識の理解を得られるようしっかりと対応しなくてはならないと思いました。

人と接する難しさも、心がけひとつで、優しく有意義な時間になる。そう信じて大切に過ごしていきたいと思います。

【林小児科内科 受付 平尾 朱美】

宝塚社保協 街頭宣伝

さらなる患者負担増は受診抑制を助長 — 中井支部長が街頭で訴え



阪急逆瀬川駅前署名の協力を訴える中井支部長

社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は4月15日、阪急逆瀬川駅前で、社会保障の充実を求める街頭宣伝を行った。加盟団体から8人が参加し、約50筆の署名を集めた。

街頭宣伝に立った中井通治支部長(同会副会長)は、湿布などの市販品類似薬の保険外しなど政府の狙う患者負担増を紹介した。「すでに紹介状なしの大病院受診には定額負担が導入された。現在でも高すぎる窓口負担にさらなる負担が押しつけられれば、受診抑制を助長し、重症化につながる。この

ような負担増を実現させないためにも『ストップ患者負担増署名』にご協力を」と道行く人々に協力を訴えた。



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当; 有本まで



幹事会だより

第345回 5月19日(木)伊丹市産業・情報センター 参加 6人

◆北阪神支部の会員数と組織率

5/18現在 医科327人(72%)、歯科170人(55%)

◆情勢と医療運動対策

①富裕層のタックスヘイブンでの税逃れ、②「さらなる患者負担増計画を求める」署名の取り組み、支部総会などについて意見交換した。

◆当面の支部活動

7月16日 医療安全管理研修会 14時～ 於・いたみホール

◆次回幹事会

6月2日(木)14時30分～ 於・会場未定

お問い合わせはTEL 078-393-1817 有本・横山・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



< 6月のテーマ >

月曜日 緑内障

火曜日 下痢と薬局で処方される漢方

水曜日 老人の水分補給

木曜日 放っておくと危ない「悪玉めまい」

金土日 輸血とC型肝炎

< 7月のテーマ >

月曜日 スマホ老眼

火曜日 スポーツマウスガードの効果

水曜日 海外から持ち込まれる感染症

木曜日 くり返す子どもの中耳炎

金土日 初夏の紫外線が強まる季節

兵庫県保険医協会 第48回総会のご案内

6月19日(日) 午後1時30分～ 於・チサンホテル神戸 2階 あじさい
(JR「神戸」駅北へ徒歩5分、「高速神戸」駅直結)

■総会議事 午後1時30分～

2015年度会務報告と2016年度活動方針案、2016年度予算案、規約改定の承認ほか

■記念講演 午後3時30分～

「マラリア対策から学ぶ～行動は変えられるか」

神戸大学名誉教授 川端 真人 先生

※懇親会 午後5時～(3階六甲) 会費無料